

創刊号  
平成8年9月

編集発行

九頭竜厚生事業団  
九頭竜ワークショップ  
広報委員会  
☎0779-87-3003



九頭竜ワークショップ  
所長 五十嵐 閑

「カンナ坂だより」の発刊に当たって、一言ご挨拶申し上げます。私が県庁退職後、昭和四十八年頃だったと思いますが、身体障害者更生援護施設の施設長として在職中、福祉先進国北ヨーロッパの方々が日本の福祉施設を視察に来られ「日本の福祉施設は施設とは言えない。人間の単なる入れ物ではないか」と言われたことを仄聞いたしました。その言葉に反論の余地もなく、それからは人間の入れ物にすぎない施設ではなく、利用者本意の福祉施設を建設していくことが私の本願となりました。

その時よりほぼ二十年が経過致しました。その間、身体障害者療護施設、重度身体障害者授産施設、身体障害者授産施設、老人デイサービスセンター、通所事業、老人保健施設の建設と、逐次計画を進めてまいりました。そうして近い将来には精神薄弱者の施設を建設する予定であります。私共の願い

たって、「カンナ坂だより」の発刊に当たって、一言ご挨拶申し上げます。私が県庁退職後、昭和四十八年頃だったと思いますが、身体障害者更生援護施設の施設長として在職中、福祉先進国北ヨーロッパの方々が日本の福祉施設を視察に来られ「日本の福祉施設は施設とは言えない。人間の単なる入れ物ではないか」と言われたことを仄聞いたしました。その言葉に反論の余地もなく、それからは人間の入れ物にすぎない施設ではなく、利用者本意の福祉施設を建設していくことが私の本願となりました。

その時よりほぼ二十年が経過致しました。その間、身体障害者療護施設、重度身体障害者授産施設、身体障害者授産施設、老人デイサービスセンター、通所事業、老人保健施設の建設と、逐次計画を進めてまいりました。そうして近い将来には精神薄弱者の施設を建設する予定であります。私共の願い

は、身体的に、精神的に、また高齢なるが故に、社会生活上ハンディがある方々が、それぞれの足らないところを相補い合いながら、共に助け合って生活していく場を作ることであります。ひいてはそれが地域に豊かな福祉を創つていくことに貢献することであると信じております。今後とも、創立時の理念つまりタテ割り的な施設ではなく、自立生活の困難な方々が、共に助け合って生活が出来、また地域の人々と共に利用し合つて、総合福祉施設づくりを進めていきたいと考えております。

カンナ坂とはワークショップへと続く坂道のことであります。施設を訪問される方に少しでも安らぎをもつて当施設に来ていただこうという思いから、職員が力を合わせてカンナの花を植えました。この「カンナ坂だより」が施設の入所者、ボランティアの方々、地域の方々、入所者ご家族の方々等の皆様にいつまでも愛され、そして継続されるように祈念しております。

## 「カンナ坂だより」発刊に当たつて

施設長 坪川信行

シルバーケア九頭竜

小生もこの新装されたシルバーケア九頭竜の施設長に任せられ、元気ハツラツたる若者と共に働くことが出来ることは、まだ光栄であり、気持ちを新たにして誠心誠意、奮闘努力し、地域の人々から信頼され好まれる、温かさのある施設の発展に貢献したいと思っております。

## 老人保健施設

# 「シルバーケア九頭竜」 オープニング

平成八年四月一日

老人保健施設「シルバーケア九頭竜」がワークシップの南向きの風光明媚で絶景の大地に威風堂々と立派に完成し、四月一日にオープン致しました。老人保健施設とは、明るく家庭的な雰囲気の中でお年寄りの自立を支援し、地域や家庭と密接な関係を維持しながら、入所者の家庭への復帰を目指す施設であります。そのようなお年寄りのために、看護、介護、リハビリテーションを中心とする医療ケアと日常生活サービス等を提供いたします。即ちケアの提供を主体として医療、保健、福祉を兼ね備えた、お年寄りにとって最も適した施設であります。病院でもなければ老人ホームでもありません。いわゆる中間施設と呼ばれるものであります。

介護を必要とする高齢者の方に  
老人保健施設

# シルバーケア九頭竜

## サービス内容

医師による診察、医学的管理下における看護・介護・リハビリテーションなどのサービスを行います。また、日常生活を快適に過ごしていただくために相談、指導、生活サービス等の提供を行います。

### 食事

- 四季おりおりに移り変わる奥越の山並みを一望しながら食堂で食事ができます。
- 基準食の他、医師の指示による特別食を用意いたします。

### 入浴

- 日本庭園を眺めながらゆったり気分で入浴を楽しめます。
- 一般浴槽と特殊浴槽とがあります。

### 生活リハビリ

- 庭園の散策など自然に親しみながら、歩行訓練を行います。
- 近代的設備と優秀なスタッフにより生活自立に向けたリハビリを行います。

### レクリエーション

- 夏祭り、冬祭りなど四季折々の行事、誕生会、カラオケ、各趣味に応じたサークル活動等を行います。

## 長期利用の場合

医師や看護婦、理学療法士・介護職員等による健康管理、日常生活の看護、介護、リハビリテーションなどを行い、自立した家庭生活を送るための支援をいたします。

## 短期利用の場合

冠婚葬祭、家族旅行、出張、農繁期、入院、社会的または私的な理由で、短期間家庭でのお世話が困難になった時、一時にお世話をします。

## 専門スタッフ 33名

医 師 : 1名	看護婦 : 7名	理学療法士 : 1名	介護職員 : 17名
調理員 : 4名	栄養士 : 1名	相談指導員 : 2名	事 務 員 : 1名

当ワークショップは、大自然の緑と澄んだ空気、おいしい水に恵まれた環境にあります。この素晴らしい自然環境の中で、健康新の食事管理に気を配り色々な人たちとふれあいながら豊かな心で生活を送れるように心掛けています。



## 思いつくまま

竹島 久之助

年寄りになると皆老人ホームに入れられてしまう……とかつて話していたことを思い出す。汚くて、薄暗くて、とても寒い所だと言って話し合っていた。現在私がお世話になっている施設はとても、新しくきれいだ。先生や職員の方も良い人で、何事も理解力のある方々と見る。また、そうあってほしい。何事も人の心を対象とする日々の仕事なれば、大変なことは申し上げるまでもないとは思うが。この施設は自然を生かした地形の中に建っており、施設と自然環境が一体となっている。今後の向上発展を願ってやまない。庭が完成すれば、夜景と共にすばらしい美しさを浮かび上がらせるものと思われる。得難い風景を見せてくれることを念じつつ……。

(老人保健施設入所者)

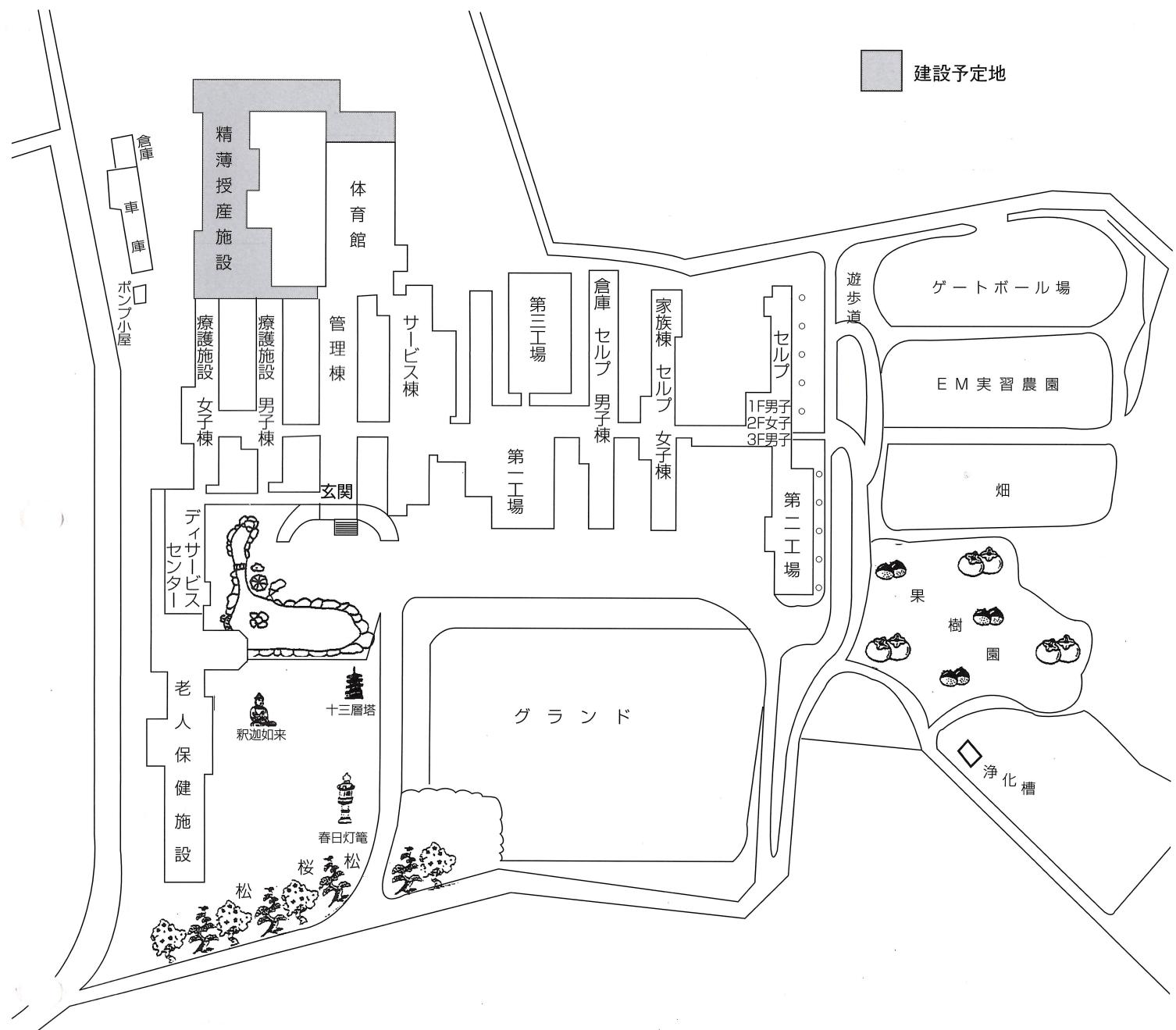


## シルバーケアの新職員として

北川 桂子

高齢者の介護は、子供や病院の介護と違い、様々な形態があることをここへ来て痛切に思うようになってきました。なぜなら、高齢者の障害は肢体不自由の他に、疾病や合併症のある人が多く見られるからです。この様な、高齢者を介護するに当たっては、非常に神経を遣うものです。高齢者の一人ひとりの顔色、健康状態を見て、とるべきケアは何かと、考え方行動することは難しいと思います。「本当に自分に出来るであろうか」「これでいいのだろうか」と毎夜自分に問い合わせますが、反省ばかりです。高齢者の方にはすまない気持ちで一杯ですが、次の日からは新たな気持ちで接するよう心がけています。それに私はこれから痴呆老人の介護を特に勉強したいと考えています。実際は身の回りのケアさえ出来ていない様に思うのですが、知識と経験を高め、高齢者の方に嫌われない職員に、そして、ワークショップの格言である「勇気」「自證明」をしっかりと守り自分自身を磨ける職員になりたいと思っています。

(老人保健施設 職員)



## ■ワークショップ沿革 ■

昭和五十年六月

身体障害者総合施設建設構想発意

昭和五十一年五月

社会福祉法人「九頭竜厚生事業団」設立発起人会開催

昭和五十二年九月

社会福祉法人「九頭竜厚生事業団」設立認可書受理

昭和五十三年十月

社会福祉法人「九頭竜厚生事業団」設立登記

昭和五十五年四月

身体障害者療護施設「九頭竜ワークショップ」設立

昭和五十九年四月

重度身体障害者授産施設「九頭竜ワークショップ」開設

昭和五十九年四月

身体障害者授産施設「九頭竜ワークショップ」開設

昭和六十二年十一月

体育館(積雪寒冷地体育館)竣工

平成五年二月

老人デイサービスセンター

平成五年四月

「九頭竜」開設

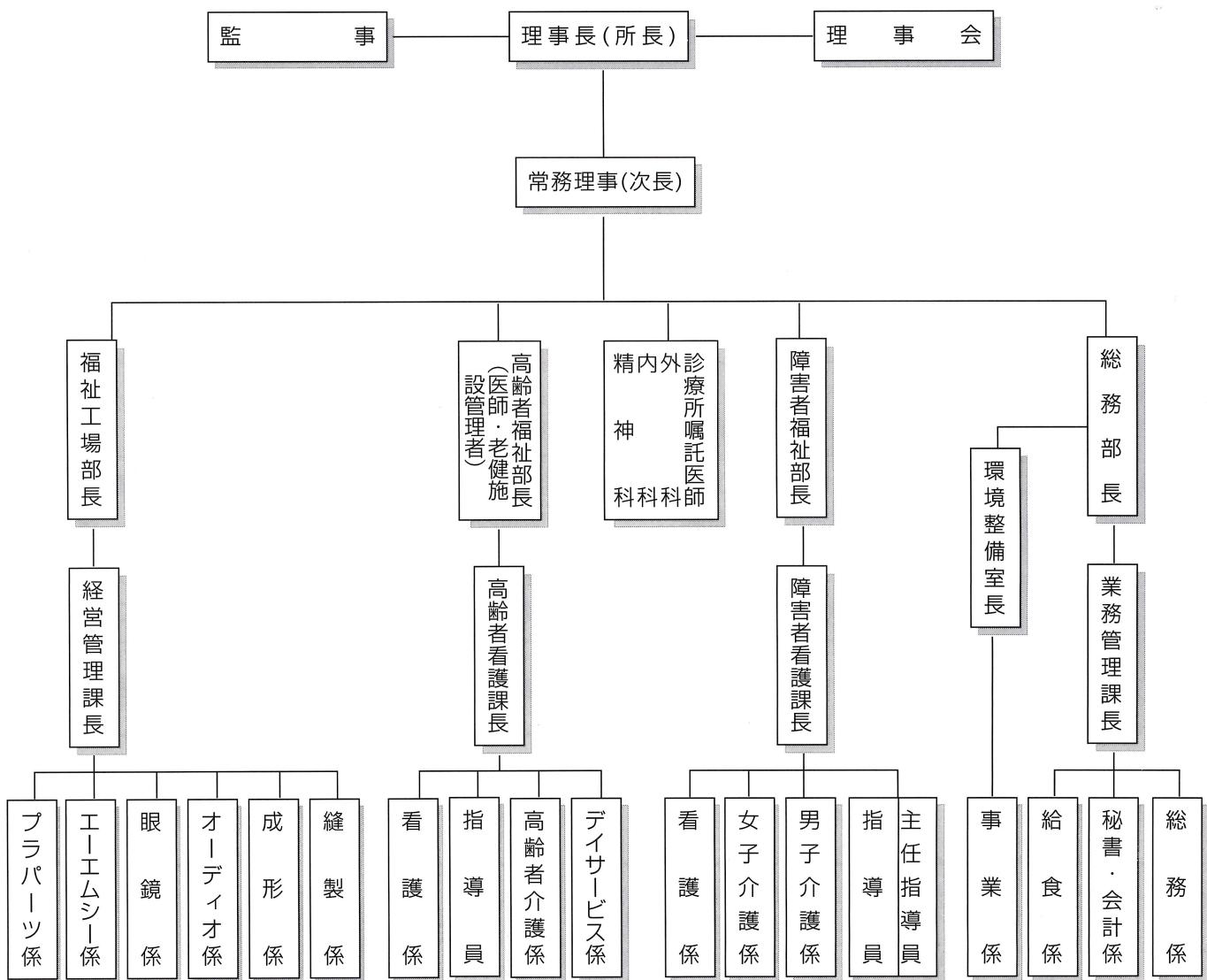
平成八年四月

身体障害者授産施設に通所事業増設(定員十四名)

平成八年九月

老人保健施設「シルバーケア九頭竜」開設

# 社会福祉法人九頭竜厚生事業団 九頭竜ワークショップ組織図



## 老人デイサービスセンター (B型)

在宅の高齢者に対し、通所または訪問により生活指導、日常生活訓練等のサービスを提供する施設。  
(四五才以上の初老期痴呆の方も対象になります。)

## 老人保健施設 (定員八〇名)

医療受給者証をお持ちの方等に、比較的安定した病状に対する医療、リハビリテーションおよび日常生活サービスを提供する施設。

## 重度身体障害者授産施設 (定員五〇名)

雇用されることが困難な身障者の方に、必要な訓練と職業を与え、自活出来るようにする施設。

## 身体障害者療護施設 (定員六〇名)

常時介護を必要とする身障者の方が入所し、治療及び養護を行う施設。

## ■施設概要■

# あなたもボランティアに参加してみませんか

日頃から、わたしたちの施設ではこのようなボランティアの参加を希望しています。よろしくご支援をお願い申し上げます。

ボランティアの種類	日 時	内 容
身体障害者の買物支援	土曜、日曜、祝祭日(10:00~16:00) この間ご都合のよい時間	身体障害者のスーパーなどへの買い物援助(自家用車による労力のご援助)
身体障害者の作業の支援	月曜日~金曜日(8:30~17:00) この間ご都合のよい時間	身体障害者が従事している軽作業(縫製、眼鏡、音響製品、プラスチック成型品など)のご援助
高齢者の話し相手	毎日(8:30~21:00) この間ご都合のよい時間	高齢者の話し相手、遊び相手としてのご援助
身体障害者および高齢者の生活介助	毎日(8:30~21:00) この間ご都合のよい時間	身体障害者または高齢者の食事介助、入浴介助などのご援助
身体障害者および高齢者の身辺お世話	月曜日~土曜日(8:30~17:00) この間ご都合のよい時間	身体障害者または高齢者のオムツ・洗濯物整理、施設内の清掃、施設回りの草刈りなどのご援助
「ラウンジ」支援	毎週水曜日、土曜日 (18:00~20:30)の時間	身体障害者および高齢者の「ゆうげのひととき・喫茶コーナー」を家庭的なものとするご援助
クラブ活動支援	土曜日、その他(10ページ参照)	施設内クラブ活動への参加、指導のご援助

ご連絡先：九頭竜ワークショップ 業務管理課石井まで TEL：0779-87-3003  
FAX：0779-87-3441

## 保護者を代表して

保護者会会長



宮脇延行

皆さんお元気でお過ごしですか。このたびの「カンナ坂だより」発刊に当たり、一言ご挨拶申し上げます。

九頭竜ワークショップは昭和五十三年四月一日開設以来、五十嵐所長さんを始め役職員皆様のご尽力により、本年まで年々施設の充実を重ねられ、今日では日本でも有数の福祉施設となりました。更に環境整備計画においては専門の職員を配置され、まだ夢のある施設にしようと、努力されております。このことは、これから紙面に掲載し逐次現存の施設の状況と併せてご紹介するようになつておりますので、ご期待下さい。

入所者の方々のワークでの暮らしなど、保護者の方または関係者の皆さんに手に取るよう分かるよう、私も含めた編集者一同、頑張りますので今後とも「カンナ坂だより」をご愛読賜りますようによろしくお願いします私のご挨拶と致します。

監事  
広沢  
いさの  
喜久恵

宮前東谷源甲斐黒木北笠小荒井  
地川田沢斐田村川場谷五十嵐  
栄甚孝正康和圭健溪賢  
一郎也三巳夫夫子二等泉治勇

理事  
辻木下憲治  
副会長  
宮脇延行

会長  
宮脇延行

## 職員プロフィール

## 松谷悦子

(高齢者看護課長心得)



丸岡町生まれ。21才の時に野向町野津又に嫁がれ、現在一男一女の母親。昭和53年当施設の開所の時から勤務、現在女子職員の先頭に立って

活躍している。どんな

時でも、どんな事でも相談すると気軽に笑顔よく対応してくださる。また納得のいく指示をしてくれるし、面倒見もいい。仕事は何でも真っ先に行う行動力があり、人間的優しさを感じる。至って真面目で、これだけは行わなければと思うと、夜を徹してでもやり遂げる努力家「自分はいのし生まれだから」とよく言っている。負けず嫌いな性格でもあろう。ところが「人前で話しをする時はどうしても緊張してしまうので…」と小心なところも見せる。今年から老人保健施設で最善を尽くしたいと張り切っているが、これまで健康であったからと言って、自信を持ちすぎないように…。

(記：障害者福祉部長 小林 信慈)

## 入所者プロフィール

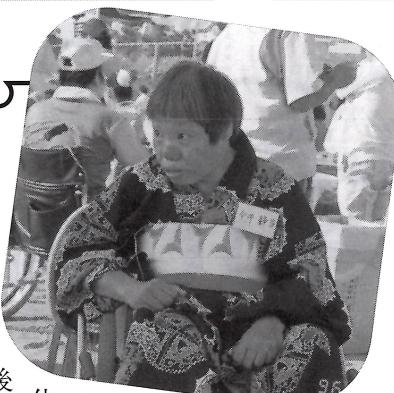
## 小寺春美

福井市生まれ、わんぱく少年時代をおくり、10代後半に軽い症状があったものの、26才で筋ジストロフィーを発病。昭和55年4月8日に入所、昭和56年から3年間自治会長を務めるなど指導力を



發揮し自治会活動の発展に貢献しました。入所時から現在にいたるまで熱心に生産科の仕事に従事しています。性格的に一つのことへのめり込むと徹底的に取り組むタイプで、現在もクラブ活動としての俳遊会、カラオケクラブ、詩吟クラブに参加しています。特にカラオケは大好きで、クラブの代表も勤め、また「NHKのど自慢大会」には何度も挑戦しています。何事にも積極的に責任感も強く、他の人たちには兄貴分として慕われる存在です。現在は入所当時より体力が落ちてきているため、歩くことは出来なくなつたけれど、気力だけは今なお健在で、これからも皆の良き相談相手となって頑張ってほしいと思います。

(記：療護施設入所者 坂本 敏美)



## 九頭竜ワークシヨツプ夏祭り

第十九回夏祭りが、今年八月三日に行われました。これは、毎年この時期に行われる行事です。

入所者、職員共々、炎天下の中を汗だくになりながらも、少しでも地域の方に喜んでもらおうと頑張っていました。今年も天候に恵まれました、第三回を迎えた小、中学生の相撲大会も、テレビで見ているのとは違ひ力が入つて楽しかった、と言ふ声もあちこちで聞かれました。

また、歌謡ショーも四葉音楽会の皆さんのが来てください、素晴らしい

燃え上がる井桁を囲んだ火の祭典、民謡や太鼓を交えた盆踊り、入所者の体験を語る朗読、そして最後は花火、火文字と参加者

を楽しませるプログラムとなっていました。

とても楽しい真夏の日のひととき、入所者、職員にとって、良き想い出となる一日でした。  
写真は、夏祭りをゆかた姿で満喫された今井静子さんです。ワークショツプに開設当時から入所しておられ、皆を愛らしいしぐさで楽しませてくれます。いつまでもお元気でいてくださいね。

(記・坂本)

## 自治会活動より

自治会会长 植村美義

岩佐安代子

施設内での私達の生活の一  
部である自治会の活動につい  
て説明させて頂きます。

当施設の自治会は、療護部、  
重度授産部、身障授産部、作  
業通所利用者の全員で構成さ  
れ（月額二〇〇円、現在会員  
数約一八〇人）各棟より選任  
された十四人の役員で運営さ  
れています。主な活動は、一  
年間の役割分担、予算の作成  
から始まり、会員から出され  
た要望事項を持ち寄り討議す  
る毎月の「自治会役員会」、そ  
の要望事項を施設側に提示し

職員と話し合って回答を貰い、  
施設側の会員に対する要望事  
項を聞く毎月の「定例連絡会」、  
またラウンジの運営、これは  
仕入れ、販売、代金の徴収、  
あとかたづけ、備品消耗品の  
管理、アルコール飲料につい  
ては分量を定め、医師の許可  
のある人のみとし、これらす  
べてを自治会が運営しています。

そのほかに、会員、職員に  
対する、慶弔、毎月行なわれる  
行事準備委員の選出等の活  
動も行なっています。

私達施設入所者は、障害が  
あるため、一般社会では生活  
しにくく、働くことも困難で  
あるため、生活しやすく働き  
やすい設備の整った当施設に  
入り、自分で出来ることは精  
一杯努力をし、どうしても出  
来ないことは、職員の皆さん  
に手助けしてもらいながら生  
活しています。

「カンナ坂だより」を発刊  
することにより、少しでも私  
達の生活をご理解いただき、  
さらに社会との掛け橋になり  
ますれば幸いに思います。



## 福祉工場部で

岩佐安代子



を作成することなどです。中でも一番神経を  
使うのが電話の応対と取次ぎです。受話器や  
マイクを通して聞こえる声は、恐ろしいぐら  
いに心理状態が伝わってきます。それに引き  
替え自分自身はどうなのか、反省させられ教  
えられることが多く、自分の一  
言が窓口となり、ワークの顔に  
なるのかと思うと、責任の重大  
さを感じます。どのような時で  
も、さわやかな声で応対できる  
よう心掛け、皆の良き清涼剤に  
なることができたら嬉しく思  
います。（重度授産施設入所者）

\*\*\*\*\*

## わたしたちはたらいでいます

福祉工場部は沢山の企業と取  
り引きをしているため、毎日、  
何十本もの電話の問い合わせが  
ダイレクトインで入ってきます。  
岩佐さんは明るくテキパキと応  
対され、お得意さまから高い評  
価を得ております。言いかえれ  
ば優秀なセールスマント同様の  
活躍をしているということにな  
ります。パソコンの表計算もし  
つかりと修得されました。次は  
ワープロに挑戦してください。

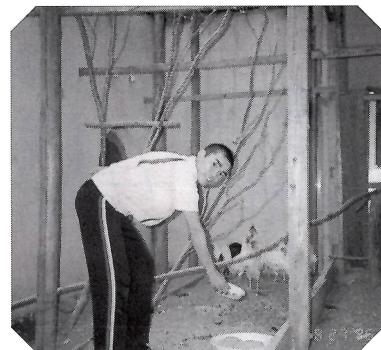
これから岩佐さんのように、入所者の中から  
どんどんと管理部門で活躍される人が出てく  
ることを期待しております。

（福祉工場部長 林義信）

福祉工場部の事務を担当することになりました。  
主な仕事は、お得意先からの電話の応対、各  
科から集まつてくる売上日報の集計、また納  
入実績、在庫数をパソコンに打ち込み一覧表

## 鳥のお世話

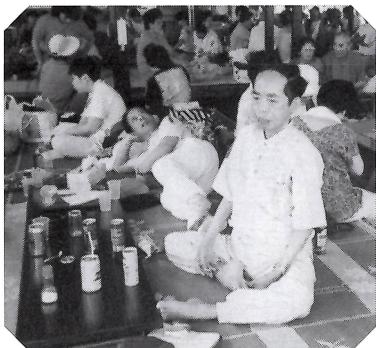
高橋徳一



が、今年になつて雛が、二羽産されました。最近ではインコに餌を与える時、私の顔を覚えたのか寄ってきます。そんなところがとても可愛いです。

私の夢は鳩を飼うことです。以前、この小屋で飼っていたことはあるのですが、いつの間にかいなくなってしまいまして。もう一度飼い、そして出来たら、夏祭りの式典で一斉に鳩を放ち式を盛り上げてみたい、そんな日が来ることを夢見ています。

(身障授産施設入所者)



## 禁煙記念日

伊藤良三

私は三十五年の間、一日十本前後の煙草を飲んでいました。健康教室では禁煙のビデオを観た。禁煙記念日には一度に四個ぐらい産みます。しかも毎日のように産むことがあります。この卵を調理係の人へ渡し、卵焼きなどを購入している飼料だけでは、栄養が偏るのでないかと考え、調理係の人と相談をして野菜の残りを定期的に与えるようにしました。また、インコは十羽あまり飼っているのです

## ワークショップの声

「よけいなお世話」と感じたのですが、「まあ、聞くだけ聞いてみよう」と思いました。実際に入り普通の

「私のひとりごと」

木村唯志

水の中では元気に跳ねていたミミズが、一本の煙草の煙を通した水の中ではまったく元気がなくなるのはびっくりしました。このようなものが体の中に入っていることが恐ろしくなり私は禁煙の一大決心をしました。そしてこの日、正に百万ドルの夜景で、見上げれば満天の星が輝いており、空気の澄んだ美しい所です。

ワークショップの四大イベント、夏祭り、冬祭り、それ

が、私は気が弱いためか誰にも言わず、禁煙を始めました。他の人が飲んでいるのを見るとうらやましくなり、七本ほどの煙草を思わず手が出そうになつたことが何度も取らなくてもよいのに、ぐらにしか思つていませんでした。

今年、二月十五日に鯖江高校の先生の禁煙に関する講演があるという話を聞いた時、「よけいなお世話」と感じたのですが、「まあ、聞くだけ聞いてみよう」と思いました。実際に入り普通の

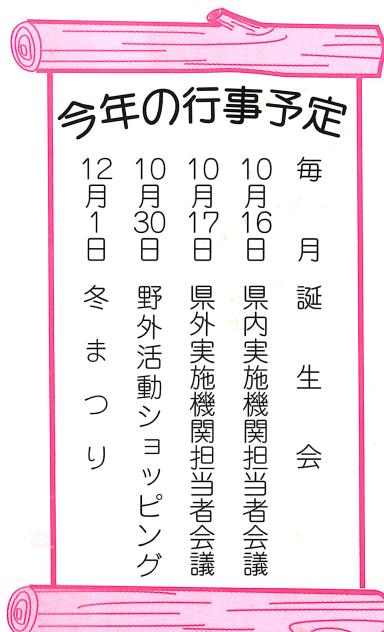
目標のない惰性の生き方は、人間としての成長はないと思う。いま、体の健康に向かい合い禁煙することが出来たということに喜びを感じています。

(療護施設入所者)



皆様方のお力添えのお蔭さまに感謝し、飼う鳥たちにも頑張ろうとささやき私は明く過ごしていきたいと思つております。

(重度授産施設入所者)



## 合唱クラブ

第1・3土曜日  
午後1:00~3:00  
長谷川義孝先生

## 太鼓クラブ

第1・3木曜日  
午後7:00~8:30  
山 範男先生

## クラブ活動紹介

## 九頭竜俳遊会

第2・4月曜日  
午後7:00~9:00  
荒井微風先生

## 詩吟クラブ

第1・3土曜日  
午後1:00~3:00  
高村貞子先生

## カラオケクラブ

第1・3土曜日  
午後2:00~4:00  
聖山豊子先生

## 習字クラブ

第2・4土曜日  
午後1:00~2:00  
職員指導

## 大正琴クラブ

第1・3土曜日  
午後1:00~3:00  
佐々木麗子先生

## 音楽鑑賞クラブ

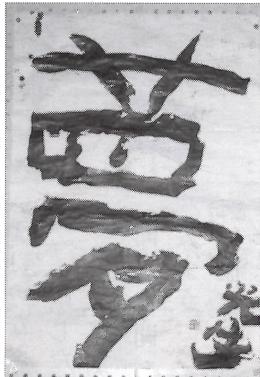
第1・3木曜日  
午後6:40~8:00  
職員指導



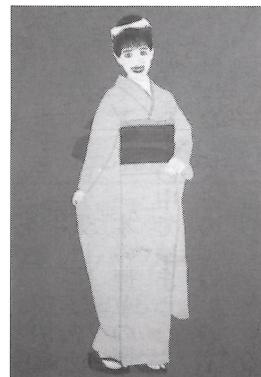
療護施設入所者  
宮前 実



重度授産施設入所者  
神村 智恵子



療護施設入所者  
古井 光生



身障授産施設入所者  
土田 政春



身障授産施設入所者  
佐竹 幸一郎

## 編集後記

暑かった夏はどこへ隠れたのか  
近頃はめっきり涼しくなり、明るくなるころには、ふとんを捲している今日この頃…。楽しかった夏祭りも、後方視界に入りだんだんと小さくなっていく…と、思いきや今度は前方から冬祭りの姿が…、乱気流の中を飛んでいくワークショップ号、時の風圧に負けないよう羅針盤をしっかり見つめ、一日一日を大切に過ごしていきましょう。

記：森田

愛らしき 色もて咲けり 胡蝶蘭  
トンネルを いくつ過ぎても 山緑  
窓を開け 涼風感じ ここち良し  
千仞の 谷やや暗き 梅雨晴れ間  
万綠や 谷底見れば 水澣み  
植え終えし 祖田に礼して 農夫去る  
夏のれん 特養ホームの 部屋ごとに  
新樹光 法話にこもごも 領いて  
新樹光 法話にこもごも 領いて

花鳥風月自然の移ろいを優雅に  
詠う大宮人ではないが、「九頭竜ワーク  
ショップ」の入所者と保護者、職員そして在宅障害者と  
ボランティアの二十数名で平成三年の十一月に発足し、  
十七文字の叙情詩に季語を入れ秀作、駄作も入り混じ  
り、一喜一憂の私達、このなごやかな「九頭竜俳遊会」  
に皆さんも仲間入りしませんか。

花鳥風月自然の移ろいを優雅に  
詠う大宮人ではないが、「九頭竜ワーク  
ショップ」の入所者と保護者、職員そして在宅障害者と  
ボランティアの二十数名で平成三年の十一月に発足し、  
十七文字の叙情詩に季語を入れ秀作、駄作も入り混じ  
り、一喜一憂の私達、このなごやかな「九頭竜俳遊会」  
に皆さんも仲間入りしませんか。

## 九頭竜ワークショップ俳遊会

